



2017年度理事長 太田 雄介

本市は、のどかな北部の田園地帯から、歴史文化が薫る尾道水道周辺を経て、多島美を誇る南部の島嶼部に至るまで、さまざまな、まちなみ、し

情景を有し、山と海と島の多彩な自然に恵まれて発展してきました。しかし、近年の世界情勢を見渡せば欧州や米国の例を持ち出すまでもなく、現代の人類社会はますます混沌の度を深めています。あらゆる分野で「安心・安全」の重要性が叫ばれていますが、実際のところ、我々が心底安心して頼れるものなど何もないようにさえ思えます。人は不安になると「強さ」を求めます。強くあることは大切なことです。しかし、それは勇ましい掛け声や力の誇示であってはなりません。真の強さとは、この強さ。この強さがあるからこそ、相手にやさしくできる、周囲を思いやることができる、自分も苦しくとも共に頑張ることができる。私たちは今こそ、JCI活動の原点を思い起こし、この強さを強く持つて前進しなければなりません。

自分たちのふるさととは、自分たち自身でつくりあげ、維持して行くもの。安心安全なまちづくりは、行政任せでは実現しません。まちづくりへの取り組み自体が、地域社会の連携やコミュニティの絆を深め、地域活性化につながります。

既存の活動のさらなる拡充に取り組みながらも、地域社会の安全確保には、例えば街灯や防犯カメラの増設といったハードも重要ですが、地域社会に暮らす人々の意識や「目」など、ソフトが極めて重要です。その意味で、地域の子どもや親の協力を求めながらもそれらの活動を通して世代を越えた協働と地域コミュニティの連携強化、地域活性化を図ります。災害対応については、予想される災害への備えを強化するため、JCIとして災害時にどう行動するか、組織をどう動かすかなど、具体的な対応策を準備することが必要です。十分な検討を重ねて具体策を決め、地域との連携も含めた、いざという場合のJCI独自のマニュアルを作成したいと考えます。

地域の未来を築いていく上では、この地域に住む若い世代の人たちに、自分たちが住む地域により一層の関心をもってもらうことが必要であり、地域の特性を活かしたまちづくり事業へ積極的に市民に参画してもらうことで、誰もがこの地域を構成している一人であることを認識して頂くことが重要であります。その取り組みこそが、若き情熱と未来へと繋がる魅力溢れるまちづくりになると確信します。

ひとつくりは、国づくりです。将来にわたって安心して暮らせる社会の基盤づくりです。これまで同様、いえ、さらに強力に子ども教育事業を推進しましょう。次代を担う子どもたちが未

来に向けて夢や希望を持ち、心身ともに健康な成長をするためには、大人が責任を持ち、いつの時代も変わらない道徳心を醸成する機会、また社会に触れる機会を積極的に創出していくことが必要だと考えます。学校がやってくれるだろう、地域の大人がやってくれるだろう、最後は誰かがやってくれるだろうと、大人や家庭、まして青年である我々までが他人任せの傍観者では、次代を担う子どもたちの豊かな人格形成は為し得ないでしょう。自分たちのために真剣に取り組み大人の背中を見て、社会に触れながら道徳心を育んだ子どもたちは、彼らが大人になった時、まだ見ぬ未来の子どものためにその背中を見せてくれるはずで、それが、幸せなまちの未来創造に向けた、大きな一歩になると信じ、まずは自らが変わるという気概と覚悟を持ち、我々責任世代が率先して行動しましょう。

地域経済の担い手をめざす我々は、真に地域から必要とされる青年経済人とならねばなりません。人ひとりが「個を高める」ことの重要性を認識し、そのための学びの場を創出して行きます。これまでも、スキルアップ研修など経営者向け事業を実施してきましたが、もっと基本的な意味で「個を高める」ための学びを進めます。見様見真似で人前になることをめざすのではなく、経営者とは何かを理論的に理解して「リーダーシップとは何か」といったことを深く考えて、経営者としての資質向上をめざす研修です。ここで学んだことを、メンバー各自が自社などに持ち帰って活用したり、地域社会への貢献に応用したりできるような普遍性のある学びを実現したいと思えます。

会員の減少傾向を直視し、危機感を持つて会員拡大に取り組んで行きます。会員一人ひとりがもう一度、自分にとつてのJCIの魅力とは何かを認識し、それをもとに全員で新たな仲間づくりを進めましょう。これまでの会員拡大活動を精査し、その効果を正しく評価して、より有効な方法を模索し、会員獲得に役立つツールなどの整備も進めたいと思います。

人生最後の学校と言われるJCIで、人生の成長期ともいえる40歳までの時間に、より大きく成果を果たす事が、私たちがJAYCEEであることの大きな意義の一つであり、価値であると考えます。共に切磋琢磨し、刺激し合い、学び合おうではありませんか。

本年度は創立60周年を迎える年でもあります。節目の年を全員で祝うとともにこれを次代のまちづくり推進の大きな契機とすることが重要です。未来を見据えた強固な土台をつくり、感謝のこころとつながりの大切さを再確認し、地域への恩返しを行ない、次代への夢をつないでいきましょう。

自分、JCI、時代と向き合い、我々青年の手で未来創造の使命と責任を果たしていこうと訴えてきました。混沌を極めていく今にあるからこそ、私たちの力を結集させ、尾道JCIとしてこの強く持ち歩んでまいります。次なる時代に、胸を張って引き継げる社会を目指して。



1月4日(水)、正副理事長・事務局メンバーで良神社へ初詣に参りました。

1月にしては暖かい天気の下、太田理事長率いる2017年度尾道青年会議所が素晴らしい会になるよう祈願して参りました。

2017年度のスタートを正副事務局メンバー全員で再確認し、新鮮な気持ちで「こころ」を一つにすることができました。

(記事：政成 啓行)



安保会長年頭挨拶



尾道青年会議所
シニアクラブ
会長 安保 雅文

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中はシニアクラブに対しまして、力強いご支援ご協力を賜り感謝しております。

昨年度は麻生理事長の素晴らしいリーダーシップのもと、輝かしい成果を上げられたものと確信しております。

本年度は尾道青年会議所創立60周年を迎えます。60歳と言えば還暦です。本卦還りとも言いますが、これは生まれた干支に帰ると言うことだそうです。この大きな節目を機に尾道青年会議所の原点を見つめ

ることも大事なことのようになっています。60年前の1957年は、戦後の復興も進み、高度成長期に突入した時期です。国民は未来に向けてがむしゃらに働き、夢を追いかけていました。そういった時代に尾道にも青年会議所の灯がともりました。自らを律し、人のため、地域のために立ち上がったのです。その思いを感じながら60周年を迎えたいと思っております。

本年度、太田理事長は「こころ Be Strong」のテーマを掲げられています。強い心を持って、次の60年に向けて力強いリーダーシップを発揮されんことをお祈り致します。

2017年度 シニアクラブ役員

会 長	： 安保 雅文	先輩
副 会 長	： 高橋 宏明	先輩
副 会 長	： 狩野 牧人	先輩
副 会 長	： 手塚 淳三	先輩
事務局 長	： 空谷 正樹	先輩
事務局次長	： 鍛冶川立章	先輩

理事長新年のご挨拶



第61代理事長
太田 雄介

係団体からいただいた私達青年会議所運動に対するご理解とご協力があったからこそだと深く感謝申し上げます。

新年明けましておめでとございます。皆様におかれましては新春の門出を健やかに迎えにいられたことと謹んでお慶び申し上げます。旧年中は、一般社団法人尾道青年会議所に対しまして、格別なるご高配を賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

私は一般社団法人尾道青年会議所2017年度理事長を拝命しております。太田雄介と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人尾道青年会議所は、1957年の創立以来、「明るい豊かな社会」の実現に向かって活動を続け、本年度で創立60周年の節目を迎えます。これも諸先輩方のこれまでの努力と多くの市民の皆様、行政、関

時は刻々と流れ、その中で『ひと』が歴史・文化・風土を創り上げ、魅力で輝きを放っています。『まち』ふるさと尾道の今日があり、明日の未来のために、熱と努力を積み重ねてこられた先人達に感謝のこころを持ち、その志をしっかりと受け継ぎ、次に繋げることが責任世代である私たちの使命であります。私たちは青年らしく希望溢れるまちの将来の先見性を持つて思い描き、それらを具現化するといふ行動力をもって一歩一歩着実に進んでいきたいと考えております。そのためには市民の皆様と共にこころを結び合わせ、活気と希望で溢れるまち尾道の未来を切り拓いて参る所存です。どうか一年間よろしくお願い申し上げます。

卒業例会

12月14日(水)、尾道国際ホテルにおいて2016年度の最後の事業となる、卒業例会が盛大に行われました。本年度は「慈〜真の友に出会えた事に感謝をこめて〜」のテーマのもと、10名のメンバーの今までの活動を振り返り、残してくれたものを心に刻み込み、これからも続くつながりを確かめ合いました。

共に語らい、喜怒哀楽を共にし、時には衝突したり、また反省したり、そういった繰り返しの日々を共に過ごしたかけがえの無い真の友を盛大に送り出すことができました。

また、当日は多くのOB・特別会員の皆様と共に新たな門出を盛大に祝福することができました。

青山暢克先輩、今中雅浩先輩、片岡彰一郎先輩、河本清順先輩、辻健志先輩、沼田邦博先輩、本多隆士先輩、村上成司先輩、村上忠正先輩、山本邦人先輩、ご卒業誠にありがとうございます。皆様の更なる飛躍とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

(記事:政成 啓行)



会員資質向上事業

12月8日(土)、会員資質向上事業「視覚をOFFにすることで新たな発見」がびんご運動公園にて開催されました。

日本ブラインドサッカー協会の剣持インストラクター・寺西選手をお招きし、目隠しをして様々なワークを行いました。仲間の呼びかけをしつかりと聞き、声をかける側も視覚をOFFにした相手

を思いやって行動することで密なコミュニケーションが取れ、お互いの信頼関係が高まることで目標に対し一丸となり挑むチームワークのスキル向上に繋がったと感じました。



また、考え方や感じ方は人それぞれ違いがあるということを念頭に置き、一度視覚をOFFにして、今までは違う自分を体感することで、今後のコミュニケーションのとり方を考え直すきっかけにもなったのではないかと思います。

(記事:政成 啓行)





60周年実行特別委員会

テーマ「ハーモニー」

皆様、新年明けましておめでとうございます。本年度、60周年実行特別委員会 副実行委員長を仰せつかりました、高橋と申します。

当委員会のテーマは『ハーモニー』です。多くの人を巻き込み、調和を取り、尾道青年会議所創立60周年の節目の年をしっかりと盛り上げて行きたいと考えています。

お願いをすることも多くなろうかと思いますが、一年間、何卒、宜しくお願い致します。

副実行委員長 高橋 建太



会員資質向上委員会

テーマ「想い」

明けましておめでとうございます。

本年度会員資質向上委員会の委員長を務めさせていただきます森川と申します。

当委員会では、テーマを「想い」とし、尾道青年会議所会員全体の資質を向上させるひとつの事業を推進してまいります。委員長としての責任ある立場をしっかりと自覚し、尾道に少しでも貢献出来るよう一生懸命務めてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

委員長 森川 陵



地域の魅力創造委員会

テーマ「共想」

2017年度、地域の魅力創造委員会、委員長を拝命致しました、工藤です。

通称、ビジョン委員会と言われる我々の委員会ですが、今年は尾道の魅力を対内外に大きく発信出来るような事業を、安楽城副理事長、今岡副委員長、そして委員会メンバーとともに思案し、創りあげている真っ只中であります。

諸先輩方から頂いた「大きいことやれよ!」の言葉を胸に、1年間、悔いの無い毎日を創造していきます!皆様、更なるご指導よろしくお願い致します。

委員長 工藤 孝之



総務広報委員会

テーマ「伝える」

あけましておめでとうございます。本年度総務広報委員会委員長を仰せつかりました、政成啓行です。2度目の委員長となりますが「伝える」をテーマに掲げ、体調管理と楽しい

委員会創り、そして尾道JCの活動の発信に邁進していきたいと思ひます。取材等で皆様に何かとお願ひさせて頂くことが多々あるとは思ひますが、尾道JCの活動を内外にお伝えするため、ご協力をお願い致します。

委員長 政成 啓行

編集後記

いよいよ2017年度尾道青年会議所がスタートしました。皆様、気持ちを新たにされていることでしょう。我々総務広報委員会は、「伝える」をテーマに、今年も皆様の「JCライフ」を楽しく、そして分かりやすくお伝えしていきたいと思ひますので、どうぞ1年間宜しく願ひ致します。

総務広報委員会 委員長 政成 啓行



2017年度 委員長 あいさつ



地域の希望育成委員会

テーマ「種まき」

新年明けましておめでとうございます。

地域の希望委員会委員長の川原奨二と申します。

テーマは、「種まき」としました。

JC活動の一つ一つが「種」となり、伝統ある尾道市の未来へ向けて実りをもたらす、そんな活動を目指していきたいと思ひています。

メンバー一人一人の小さな力を、一致団結して大きな力に変え、精一杯務めさせていただきます。

今年一年、よろしく願ひ致します。

委員長 川原 奨二



地域特性を活かしたまちづくり委員会

テーマ「意志」

明けましておめでとうございます。

地域特性を活かしたまちづくり委員会 委員長の宮地です。

お祭り委員会は清く、正しく、美しく!

当委員会は常に笑顔を忘れず、安全安心な尾道を実現するために活動をやっていきたく思ひますので皆さまご協力の程よろしく願ひ申し上げます。

委員長 宮地 晃二郎



拡大研修委員会

テーマ「生涯の友」

60周年を迎える年、吉原副委員長をはじめ心強いメンバーと共に明朗快活な委員会としてJCを、そして尾道を盛り上げてまいります。

～袖振り合うも他生の縁～さまざま出逢いを通し、「ここところの繋がりを大切に」「まちとのつながりを大切に」想いを共にできる仲間が一人でも多く集えるよう、次なる10年、20年の礎となるよう全身全霊をかけて拡大活動に努めてまいります。皆さま一年間、どうぞ宜しく願ひ申し上げます。

委員長 日暮 泰広



事務局長

明けましておめでとうございます。2017年度事務局長を務めます武田大俊と申します。本年は60周年という、大きな節目を迎えます。その記念すべき時を太田理事長のもと、会が円滑に運営できるよう強いところで精一杯支えていきたいと思ひます。

事務局長 武田 大俊